



【無断転載を禁ず】

きょうは2ページです

<発行所>日本歯科新聞社 厚生労働省記者クラブ所属

本社:〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-20-4

☎03(3234)2475㈹/FAX03(3234)8302/メールアドレス jdn@dentalnews.co.jp

群馬

が3選

都道府県歯会長選挙結果

お氏が無投票で3選を果たした。任期は4月1日から3年間。

同氏は、昭和31年に東京

歯科大学卒業、51年から県務理事の清水恵太(ひづな)氏

愛媛県歯科医師会の任期満了に伴う役員選挙で現常務理事の清水恵太(ひづな)氏

が3選

ら3年間。

同氏は、昭和41年九州歯科大学卒業、60年から松山市歯理事、松山市歯専務理事、県歯理事、常務理事、日

本堤直彦(つづみ・なおひこ)氏が無投票で3選を決めた。任期は4月1日から3年間。

同氏は、昭和41年に九州歯科大学卒業、54年から県

歯科で行う骨粗鬆症スクリーニングの有効性を明らかにした、WHO骨粗鬆症対策委員の森井浩世氏(大阪歯科大学客員教授)と高石佳知氏(兵庫県開業)らの研究論文が、米・学術誌「オステオボロジカル・インターナショナル」に掲載されたことを記念し、16日、大阪市内のホテル「ザ・リッツ・カーリトン大阪」で、パーティーが開かれた。同雑誌は骨粗鬆症の分野で、国際的に最も権威ある雑誌とされてい

る。研究は骨粗鬆症の一般的な診断材料となる腰椎とかかとの骨密度と、歯槽骨の吸収度に相関があることを明らかにしたもの。昨年9月に米・ナッシュビルで開かれた米国骨ミネラル学会でも発表した。(日本歯科新聞1439号に既掲載)

でも発表した高石氏は、この会場では、高石氏らが開発し、実際に研究で使われた歯槽骨の簡易骨密度測定システムが公開された。從来からある歯科用パノラマ

X線写真を使い、簡単に検査が行えるもので、現在製品化に向け開発が急ピッチで進んでいるという。

発表した高石氏は、この会場では、高石氏らが開発し、実際に研究で使われた歯槽骨の簡易骨密度測定システムが公開された。從来からある歯科用パノラマ

骨粗鬆症研究の日本人研究論文

記念パーティーでシステムの製品化を表明

米国の有名学術誌に掲載

いた歯科治療が可能になると、同評価法がもたらすた。

歯科医療への効果を語った。

本社ホームページ
<http://www.dentalnews.co.jp/>

3月5日に
大会・総会

歯科骨粗鬆研究会

人は、研究に使われたかかとの超音波骨密度測定装置を製造する古野電気と、販売元のエルクコープレーション。

(森井浩世理事長)の第4回学術大会・総会(野口俊英大

会長)が3月5日、愛知学院

大学部の楠元校舎で開かれ

る。テーマは「お口の健康と

満了に伴う会長選挙で、現職の堤直彦(つづみ・なおひこ)氏が無投票で3選を決めた。任期は4月1日から3年間。

(1面から続く)
かひどい健康への架け橋…
歯周病と骨粗鬆症の関係か
ら」。

同研究会は口腔疾患と骨粗鬆症の関係や咀嚼・咬合

が全身に及ぼす影響などについて、医科、歯科、柔整、鍼灸の各分野が学際的に研究しようとして2002年10月に設立されたもの。今回、過去最多の演題数が集まった。

基調講演は森井理事長の「骨粗鬆症研究の流れ—全身骨粗鬆症と頸骨骨粗鬆症をつなぐもの」。教育講演は5題用意され、徳島大学歯学部の永田俊彦教授による「歯周病と腎臓病との関連性」や、広島大学歯学部の田口明講師の「パノラマX線写真による閉経後女性の骨粗鬆症スクリーニング」などがある。

また、大会テーマと同名のシンポジウムでは、名鉄病院婦人科の細井延行部長や兵庫県開業の高石佳知氏ら3人がディスカッションする。その他、企業展示や市民フォーラムもあり、一般人向けに無料の口腔衛生指導や口臭測定、骨量測定なども行われる予定。

詳細は事務局☎052(759)2150、ホーム

ページhttp://perio.dent.aichi-gakuin.ac.jp/JDAOS#6ペー

24年ぶり開催

日本医学会（高久史磨会長）は22日、都内の日本医師会で会見し、来年4月に大阪で開かれる第27回日本医学会総会（岸本忠二会頭）の概要を発表した。大阪での開催は24年ぶりで、テーマは「生命と医療の原点—いのち ひと 夢」。

学術講演と学術展示、企画展示を中心に多数の催しがあり、学術講演は4月6日から3日間。1日じとにテーマを「いのち」「ひと」「夢」に分け、多数の講演を予定している。今回、専門領域に特化したもの避け、分野横断的なテーマを優先したという。予定テーマの中には「歯周病と全身疾患—やつかないオーラルバイオフィルム」といったものもある。医療関係者対象